



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月10日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9012 URL <http://www.chichibu-railway.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 隆男
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 武部 一弘 TEL 048-523-3311
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	1,307	△3.4	21	△76.4	16	△80.6	△7	—
2018年3月期第1四半期	1,352	1.6	90	5.9	85	0.9	38	△72.7

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 △33百万円 (—%) 2018年3月期第1四半期 78百万円 (△33.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	△5.20	—
2018年3月期第1四半期	26.11	—

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	23,042	10,932	47.4	7,349.09
2018年3月期	24,093	10,966	45.3	7,371.31

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 10,921百万円 2018年3月期 10,954百万円

(注) 当社は、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値と比較を行っております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	0.00	0.00	0.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	0.00	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,750	△0.6	120	△32.6	110	△34.2	100	20.5	67.26
通期	5,500	2.0	260	1.5	240	2.9	200	24.1	134.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	1,500,000株	2018年3月期	1,500,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	13,934株	2018年3月期	13,895株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	1,486,104株	2018年3月期1Q	1,486,758株

（注）当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先に取組み、営業活動においては、各種イベントの実施や沿線の商業施設等とも連携した誘客活動を積極的に実施し、収益の確保に努めてまいりました。

しかしながら、鉄道事業における旅客収入及び貨物収入の減少等により、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益は1,307百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は21百万円（同76.4%減）、経常利益は16百万円（同80.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は7百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益38百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

[鉄道事業]

旅客部門におきましては、S L列車を活用した各種イベントを実施し、旅客誘致に努めましたが、秩父「芝桜の丘」の開花時期が早まるなどの影響により、ゴールデンウィーク期間中の乗客数が伸びず、定期外旅客人員及び定期外旅客収入は前年同期に比べ減少いたしました。

また、定期旅客におきましては、通勤定期旅客人員は増加いたしました。が、通学定期旅客人員は沿線の就学人口の減少が大きく影響し、定期旅客人員及び定期旅客収入は前年同期に比べ減少いたしました。

貨物部門におきましては、貨物列車の運休期間が前倒しとなったことにより輸送量が減少したため、貨物収入は前年同期に比べ減少いたしました。

営業費用は、電力料金の値上がりや修繕費の増加により、前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は837百万円（前年同期比4.7%減）、営業損失は33百万円（前年同期は24百万円の営業利益）となりました。

[不動産事業]

不動産事業におきましては、昨年度拡充した熊谷駅南口駐車場の利用者が増加したことにより、賃貸収入は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は94百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は51百万円（同2.2%増）となりました。

[観光事業]

観光事業におきましては、天候にも恵まれ、旅行者への営業活動による団体客が増加したこと、長瀨ラインくんだり及び宝登山ロープウェイ等の事業が堅調に推移し、営業収入は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は129百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は14百万円（同7.3%増）となりました。

[バス事業]

バス事業におきましては、貸切バスの稼働率が伸びず営業収入は前年同期に比べ減少し、営業費用は、軽油価格の上昇や、車両更新による減価償却費負担増により前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は104百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は0百万円（同89.0%減）となりました。

[その他事業]

その他事業におきましては、営業収益は238百万円（前年同期比0.6%減）、営業損失は16百万円（前年同期は8百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ1,051百万円減少し23,042百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ、961百万円減少し1,429百万円、固定資産は89百万円減少し21,613百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金並びにその他に含まれる補助金等の未収金がそれぞれ減少したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、投資有価証券の減少並びに有形固定資産の減価償却によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,018百万円減少し12,109百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ1,004百万円減少し3,332百万円、固定負債は13百万円減少し8,777百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、支払手形及び買掛金、賞与引当金並びにその他に含まれる設備未払金がそれぞれ減少したことによるものです。固定負債減少の主な要因は、長期借入金が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ33百万円減少し10,932百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上並びにその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月15日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,156,435	820,217
受取手形及び売掛金	300,949	307,245
分譲土地建物	111,913	111,907
商品及び製品	22,823	26,386
原材料及び貯蔵品	112,420	118,499
その他	690,534	49,385
貸倒引当金	△4,314	△4,488
流動資産合計	2,390,763	1,429,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,014,856	14,061,816
減価償却累計額	△9,663,978	△9,731,748
建物及び構築物（純額）	4,350,878	4,330,067
機械装置及び運搬具	5,028,177	5,058,865
減価償却累計額	△4,343,769	△4,395,460
機械装置及び運搬具（純額）	684,407	663,404
土地	15,870,839	15,870,839
その他	698,101	700,689
減価償却累計額	△606,842	△613,469
その他（純額）	91,259	87,219
有形固定資産合計	20,997,383	20,951,531
無形固定資産	39,704	34,511
投資その他の資産		
投資有価証券	622,498	589,847
繰延税金資産	15,567	9,680
その他	48,835	51,625
貸倒引当金	△21,022	△24,012
投資その他の資産合計	665,878	627,142
固定資産合計	21,702,967	21,613,184
資産合計	24,093,730	23,042,337

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	502,562	134,012
短期借入金	1,159,000	1,225,000
1年内返済予定の長期借入金	1,104,741	1,080,567
未払法人税等	8,296	1,708
未払消費税等	72,046	69,441
賞与引当金	190,051	112,930
その他	1,299,946	708,764
流動負債合計	4,336,644	3,332,425
固定負債		
長期借入金	2,246,615	2,216,435
繰延税金負債	78,112	85,773
再評価に係る繰延税金負債	4,554,262	4,554,262
退職給付に係る負債	1,643,131	1,646,559
特別修繕引当金	124,800	130,000
長期預り金	95,663	95,663
その他	48,371	48,371
固定負債合計	8,790,955	8,777,065
負債合計	13,127,599	12,109,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,916	21,916
利益剰余金	△194,351	△202,073
自己株式	△30,373	△30,476
株主資本合計	547,191	539,366
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	382,923	360,136
土地再評価差額金	9,983,917	9,983,917
退職給付に係る調整累計額	40,506	37,817
その他の包括利益累計額合計	10,407,348	10,381,871
非支配株主持分	11,591	11,608
純資産合計	10,966,131	10,932,846
負債純資産合計	24,093,730	23,042,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
営業収益	1,352,944	1,307,031
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	934,112	943,223
販売費及び一般管理費	328,536	342,508
営業費合計	1,262,649	1,285,731
営業利益	90,295	21,299
営業外収益		
受取利息	6	1
受取配当金	4,813	4,839
土地物件貸付料	4,693	5,069
その他	1,442	1,781
営業外収益合計	10,956	11,692
営業外費用		
支払利息	10,454	8,696
減価償却費	4,095	4,095
その他	1,408	3,620
営業外費用合計	15,958	16,412
経常利益	85,293	16,580
特別利益		
固定資産売却益	2,439	48
補助金受入額	172	300
特別利益合計	2,611	348
税金等調整前四半期純利益	87,905	16,928
法人税、住民税及び事業税	5,552	1,221
法人税等調整額	43,498	23,402
法人税等合計	49,051	24,623
四半期純利益又は四半期純損失(△)	38,854	△7,694
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	27
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	38,818	△7,722

（四半期連結包括利益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	38,854	△7,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,840	△22,797
退職給付に係る調整額	1,883	△2,689
その他の包括利益合計	39,724	△25,486
四半期包括利益	78,578	△33,181
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,526	△33,198
非支配株主に係る四半期包括利益	52	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2017年4月1日 至2017年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	876,051	87,939	128,620	105,352	1,197,963	154,980	1,352,944	—	1,352,944
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	2,687	1,716	275	14	4,692	85,134	89,826	△89,826	—
計	878,738	89,655	128,895	105,366	1,202,656	240,114	1,442,771	△89,826	1,352,944
セグメント 利益又は損 失(△)	24,133	50,841	13,760	7,553	96,289	△8,325	87,963	2,331	90,295

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整2,331千円には、固定資産未実現損益の消去額382千円、セグメント間取引消去1,949千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	834,862	92,434	129,112	103,808	1,160,218	146,812	1,307,031	—	1,307,031
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	2,294	1,806	153	349	4,603	91,912	96,516	△96,516	—
計	837,157	94,240	129,266	104,158	1,164,822	238,725	1,403,547	△96,516	1,307,031
セグメント 利益又は損 失(△)	△33,177	51,963	14,759	827	34,372	△16,957	17,415	3,884	21,299

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整3,884千円には、固定資産未実現損益の消去額453千円、セグメント間取引消去3,431千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第1四半期 連結累計期間	前第1四半期 連結累計期間	増減率 (%)
旅客人員	定期	千人	1,381	1,401	△1.5
	定期外	〃	754	761	△0.9
	計	〃	2,135	2,163	△1.3
貨物トン数		千トン	429	470	△8.7
旅客収入	定期	百万円	191	193	△1.0
	定期外	〃	317	325	△2.5
	計	〃	509	519	△2.0
貨物収入		〃	266	291	△8.4